

# ドライガス、ネブライザーガスのエラーが発生しているときの確認事項

# ドライガス、ネブライザーガスのエラーが発生しているときの確認事項

LCMS装置にエラーが発生して、ステータスランプが赤くなり、原因を調べるために**ログブック**を確認してみると、以下のようなメッセージが出ていることがあります。

**Nebulizer gas** pressure control timeout

**Dry gas** flow control timeout

など

これらのメッセージはいずれも「**窒素ガス**」の制御に関するメッセージです。

原因究明のために確認したいポイントを見ていきます。

# ドライガス、ネブライザーガスのエラーが発生しているときの確認事項

1. 窒素ガス発生装置からのガス供給圧力を確認します。

**電源を入れ忘れている場合や、いつの間にか停止していた場合は再起動してください。  
供給圧力は通常0.65MPaから0.75MPa程度に調整されています。**

装置がスタンバイ状態でも供給圧力がこの範囲を下回っている場合は、  
ガス発生装置のフィルターやコンプレッサーの修理・メンテナンスが必要な場合があります。

お使いの窒素ガス発生装置サポート窓口へご相談ください。(アジレントでは修理が出来ません)

- ・エアテック
- ・システムインストルメンツ
- ・PEAKサイエンティフィックジャパン

# ドライガス、ネブライザーガスのエラーが発生しているときの確認事項

## 2. ガスチューブの接続に付け忘れやゆるみがないことを確認します。

特にAJSソースの場合はシースガス、  
Dual ESIの場合はReferenceガスのつけ忘れがしばしばあります。  
各コネクタを再度触って確認してください。

# ドライガス、ネブライザーガスのエラーが発生しているときの確認事項

3. MSのメソッドでのガス設定値を一時的に下げてシステムをONにしてみます。

たとえばドライガス流量を12Lから8 Lや6 Lにしてみる。

ネブライザ圧力を60psiから20psiに下げるといった変更です。

設定値を下げた状態ではMSをON状態にできる（Ready状態を維持できる）ようであれば、やはりガスの供給元が弱まっている可能性が高いです。

この場合もガス発生装置のサポートセンターへご相談ください。

# ドライガス、ネブライザーガスのエラーが発生しているときの確認事項

## 4. 窒素ガス発生装置の修理・メンテナンスが必要になった場合

修理やメンテナンスを行う間、LCMS装置へのガス供給を一時的に停止する必要があると思います。

**窒素ガスを供給できない間はMS装置も一度VENT（真空停止）してください。**

作業が終わって、正常な圧力で窒素供給を再開できるようになってから、MSのポンプダウン(真空動作)も再開してください。

# ドライガス、ネブライザーガスのエラーが発生しているときの確認事項

5.窒素ガス発生装置の圧力・流量が**正常**であるにもかかわらず、ガス関係のエラーが起こる場合。

→MSD内部のガス制御部分に不具合が起こっている可能性があります。

アジレントのサポート窓口までご相談ください。

その際に、エラー内容が表示された**ログブック画面**などを**スクリーンショット**で保存して、送付いただくとスムーズに診断を進めることができます。